

資料5

# 山間部の交通検討について

茨木市建設部  
交通政策課



## ◎説明後に頂戴したい意見

- 地域住民：日常の移動について  
（良く行く場所と交通手段）
- 交通事業者：当該地域に合う公共交通のイメージ
- その他委員：今後の検討を進める際のポイント

など

## ■説明の流れ

- 【1】 忍頂寺車作線の動向
- 【2】 交通環境
- 【3】 公共交通の利用状況
- 【4】 市の取組状況
- 【5-1】 短期の対応
- 【5-2】 中・長期の対応

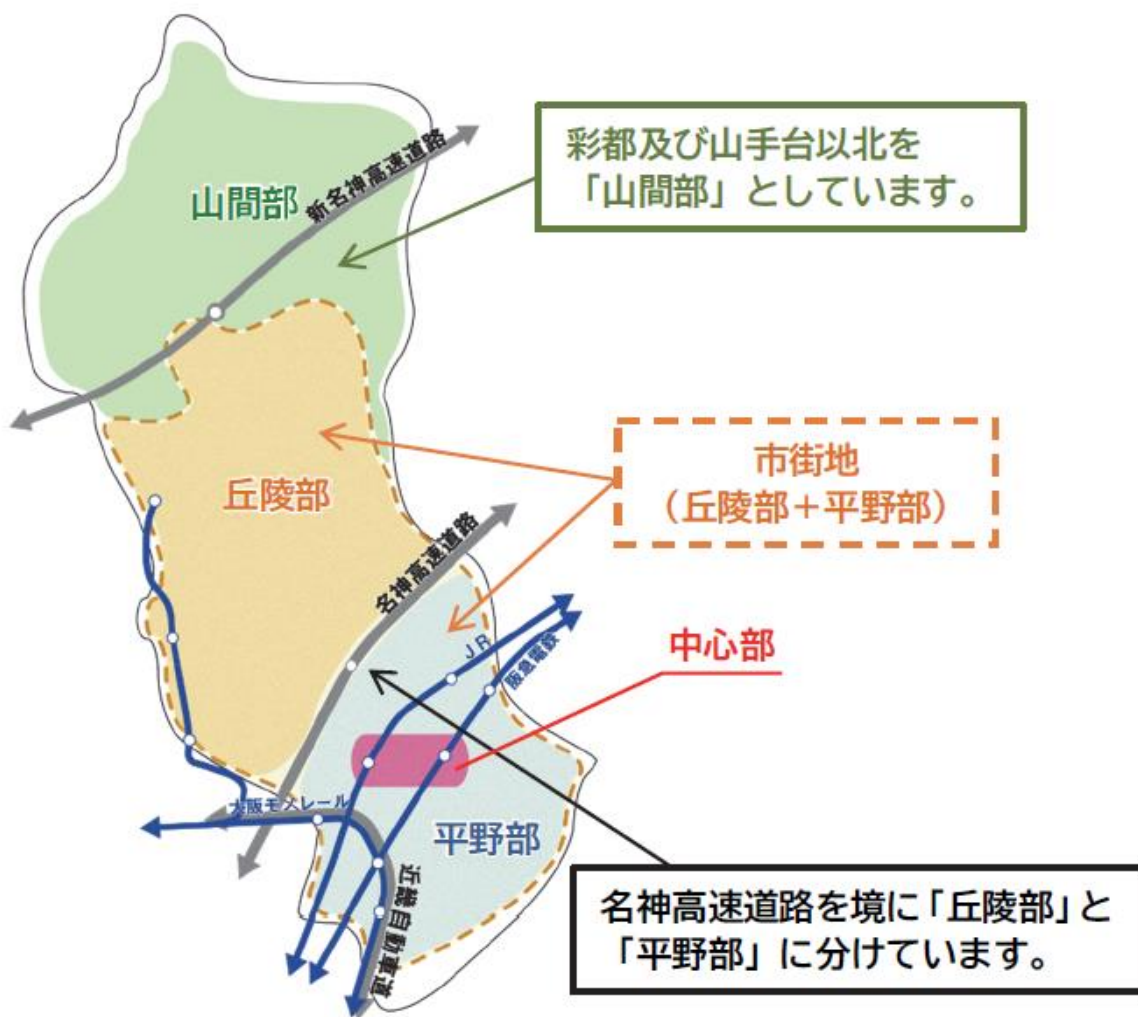


図 場所を示す語句と概ねの位置

# 【1】忍頂寺車作線の動向

令和9年（2027年）3月末の廃止予定であり、今後の進め方について協議申出を受けた。

## 忍頂寺車作線(81・89・90・139系統)の路線廃止について

資料提供：阪急バス

### 1. 廃止系統

- ・ 81：阪急茨木市駅～JR茨木～忍頂寺／希望ヶ丘東・余野
- ・ 89：阪急茨木市駅～桑野原橋～車作～千堤寺口
- ・ 90：車作～忍頂寺～上音羽
- ・ 139：銭原～忍頂寺

### 2. 廃止区間概要

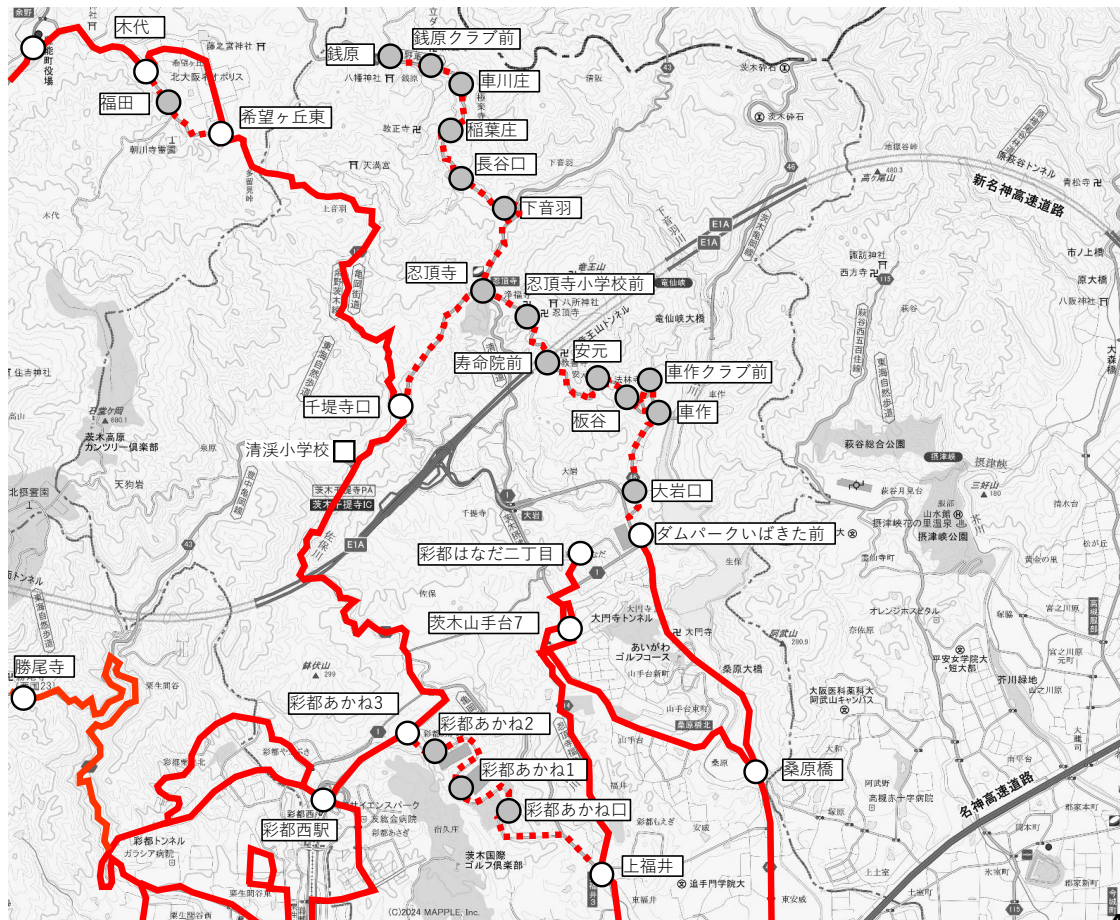
#### 【廃止区間】

- ・ 千堤寺口～ダムパークいばきた前…約5.4キロ
- ・ 彩都あかね3～上福井…約3.1キロ
- ・ 銭原～忍頂寺…約3.6キロ

#### 【廃止停留所】・17停留所

- ・ 忍頂寺、忍頂寺小学校前、寿命院前、安元、板谷、車作クラブ前、車作、大岩口、彩都あかね2、彩都あかね1、彩都あかね口、銭原、銭原クラブ前、車川庄、稲葉庄、長谷口、下音羽

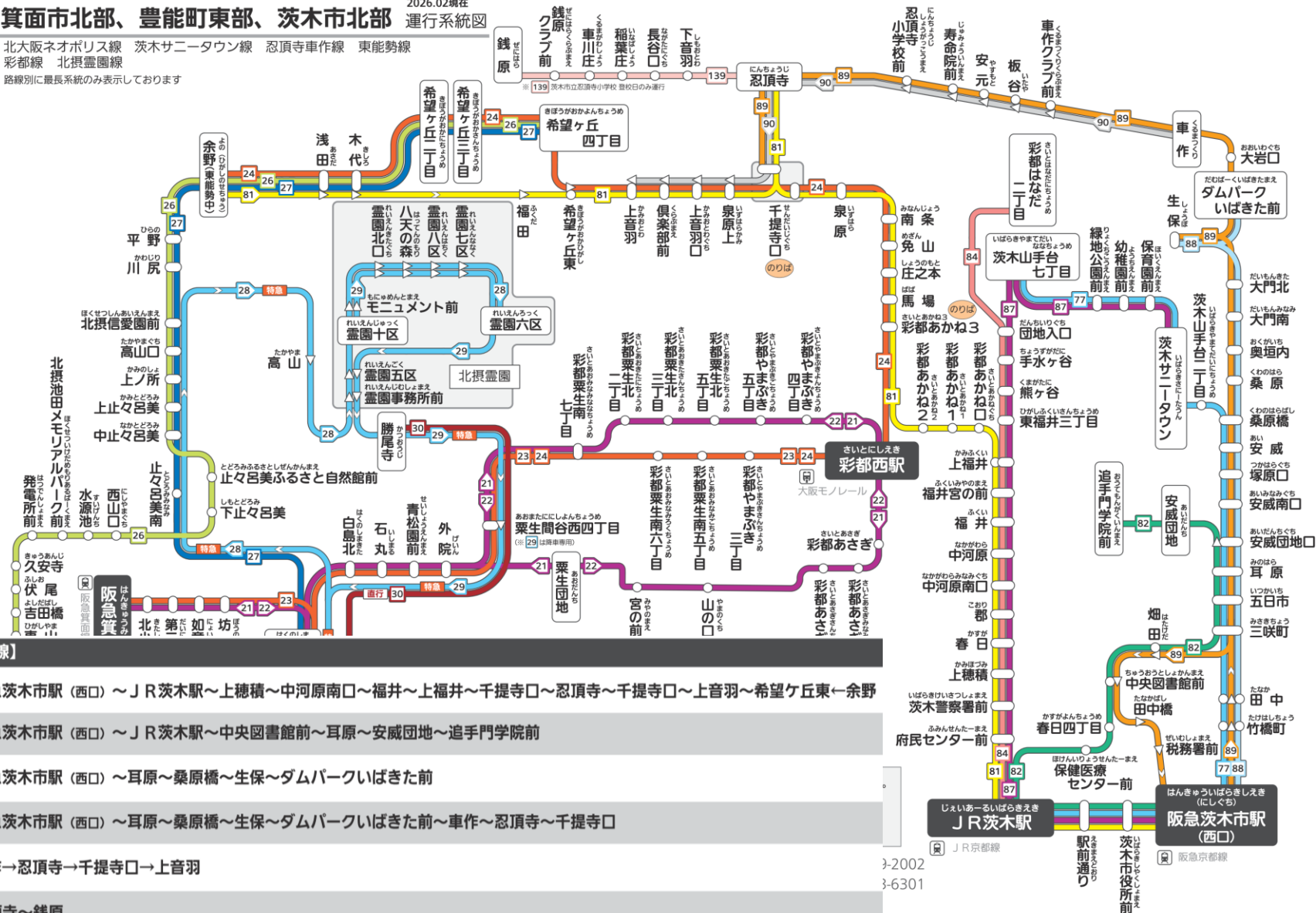
--- 廃止区間



# 【1】忍頂寺車作線の動向

2026.02現在  
箕面市北部、豊能町東部、茨木市北部 運行系統図

北大阪ネオポリス線 茨木サニータウン線 忍頂寺車作線 東能勢線  
彩都線 北摂霊園線  
路線別に最長系統のみ表示しております



©2002  
©6301

## 【2】交通環境（交通手段）

- 路線バス：阪急バス
- タクシー：法人タクシー（茨木市内に4社の営業所）、個人タクシー
- 福祉交通：茨木市福祉タクシー料金助成サービス（重度障害・要介護等条件有）  
茨木市社会福祉協議会「コミュニティカーシェアリング」（銭原、大岩・安元のみ）
- 学校教育：小学生は路線バス利用、中学生はスクールバスを運行

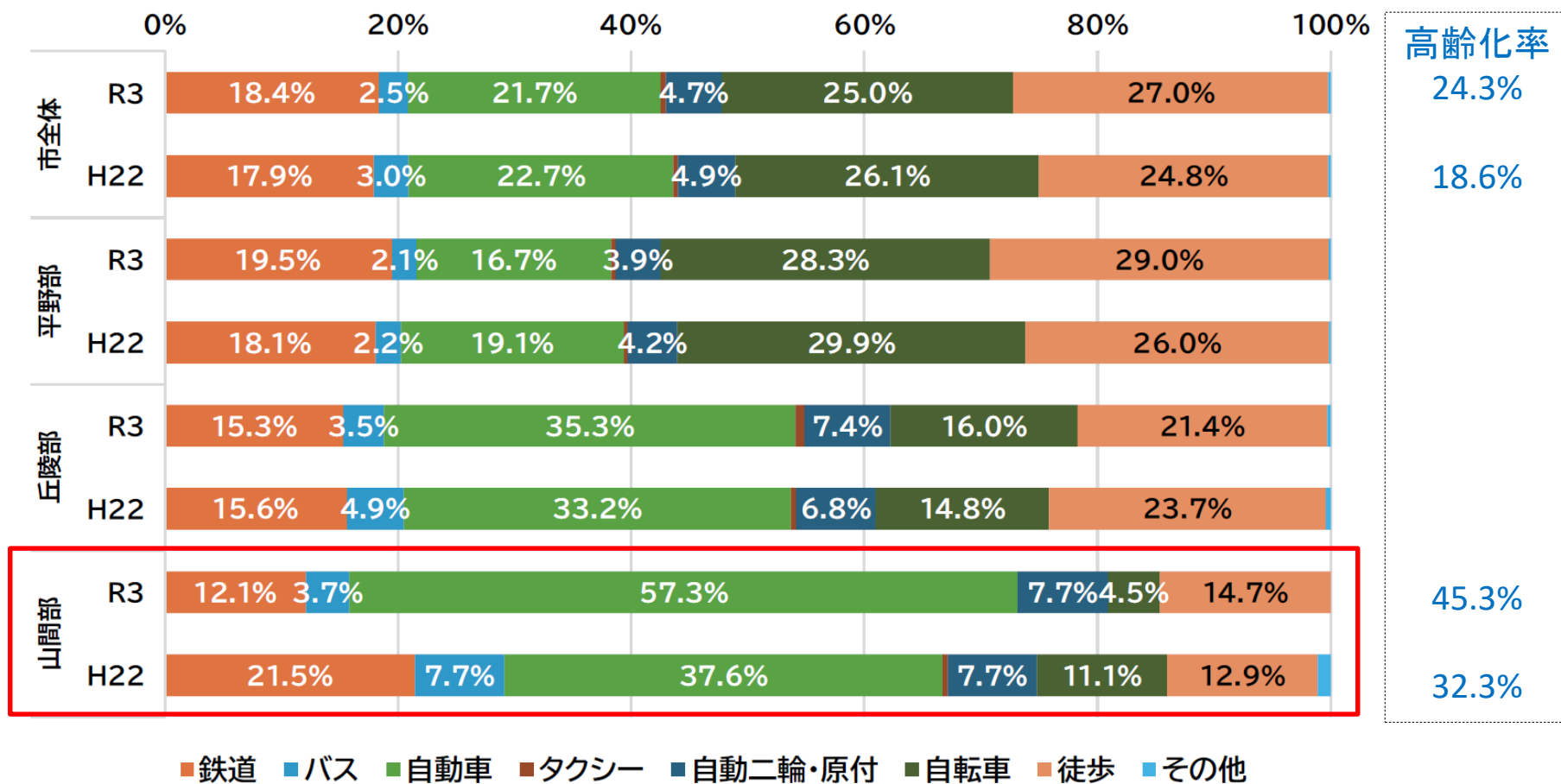


廃止予定の  
停留所

次なる  
茨木へ。  
茨木には、次がある。



### 【3】公共交通の利用状況（交通手段分担率）



※交通手段「不明」を除く  
 ※代表交通手段で算出

資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査の調査票情報を集計

図 茨木市及び近隣市町を起終点とする交通手段分担率

### 【3】公共交通の利用状況（忍頂寺車作線の利用実績：令和7年乗車人数）

- ・便数：平日は22便、土休日は13便が運行している。（運行時間：6時台～20時台）
- ・利用：山間部の利用者が全体の約26%。廃止に伴い**通学便**や**廃止停留所**の利用者への対応が必要。

忍頂寺車作線（4/21～12/31）	平日（166日間・3,652便）	土休日（89日間・1,157便）
乗車総数	41,312人 ・ 1日あたり250.0人 ・ 1便あたり11.5人	9,967人 ・ 1日あたり112.0人 ・ 1便あたり8.6人
うち、山間部の乗車人数 （豊能町内含む。）	10,732人 ・ 1日あたり65.8人 ・ 1便あたり3.0人	2,061人 ・ 1日あたり23.2人 ・ 1便あたり1.8人
通学便の乗車人数 ※通学便の運行：157日間	3,886人 ・ 1日あたり24.5人 ・ 1便あたり3.1人	運行無し
市内の廃止停留所の乗車人数 ※（ ）通学便	4,116人（2,940人） ・ 1日あたり25.6人（18.5人） ・ 1便あたり1.2人（2.6人）	679人 ・ 1日あたり7.6人 ・ 1便あたり0.6人

【山間部】 彩都あかね口、彩都あかね1、彩都あかね2を除く。

【通学便】 主に通学目的の利用を想定し、市補助により維持している便。

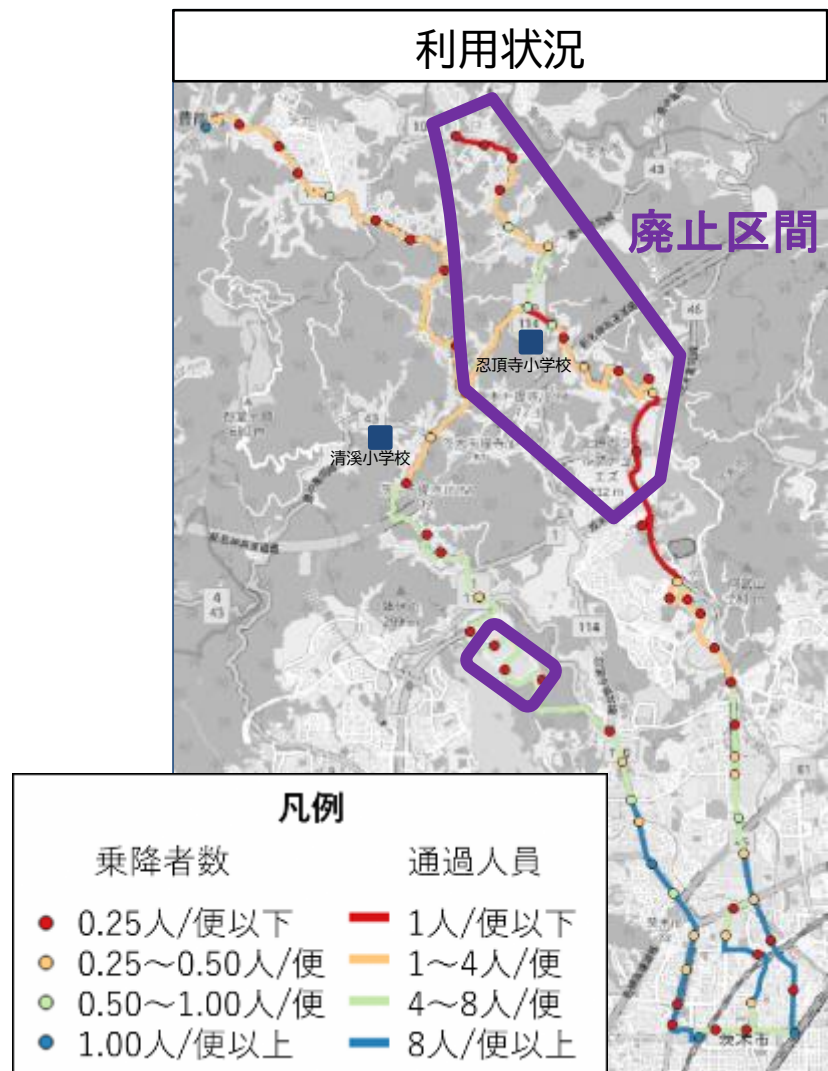
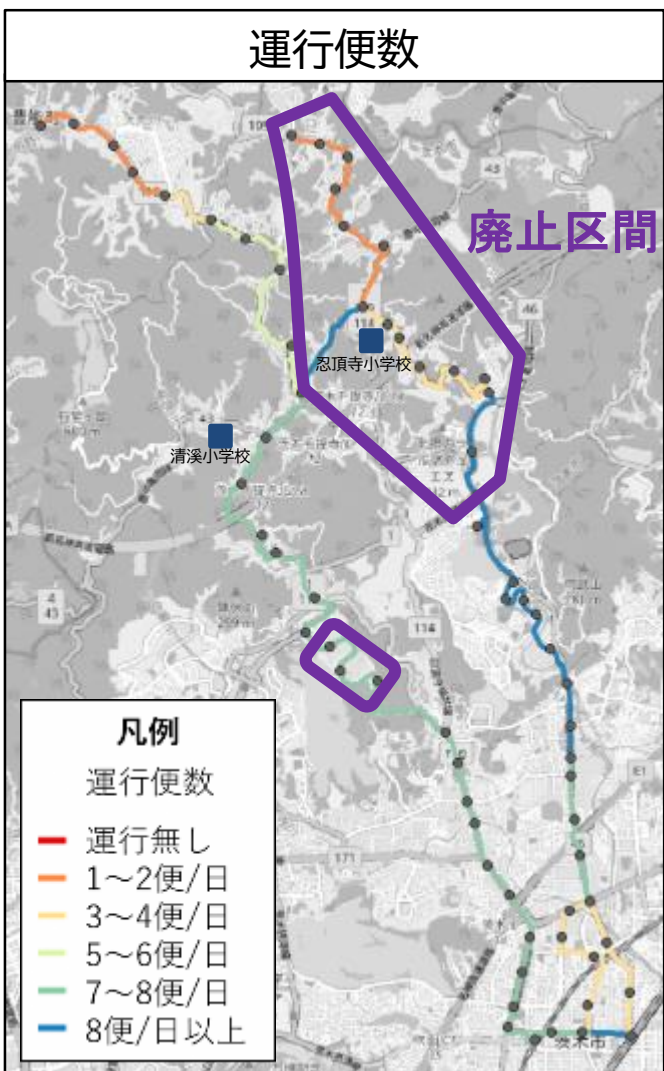
### 【3】公共交通の利用状況（便別利用状況：平日の乗車実績上位6便）

- ・鉄道駅に接続する便の利用が多い。
- ・朝夕の時間帯に利用が多い。

系統	始発時間 終着時間	(全体) 乗車人数	(山間部) 乗車人数	(山間部) 降車人数
81：余野→上音羽→忍寺→彩あ→阪茨	7:29 8:44	26.1人/日	11.7人/日 (うち、3.4人が豊能町内、 1.7人が倶楽部前)	3.5人/日 (うち、2.5人が忍頂寺)
81：忍頂寺→彩都あかね→阪茨	6:51 7:45	23.8人/日	3.7人/日 (うち、1.6人が泉原、 1.2人が千提寺口)	0.1人/日 (全て彩都あかね3)
89：阪急茨木→車作→千堤寺	7:28 8:19	19.9人/日	3.9人/日 (うち、2.5人が車作、 1.4人が安元)	5.7人/日 (うち、3.9人が忍頂寺小)
81：阪茨→彩あ→忍寺→上音羽→希望東	17:46 18:51	19.5人/日	0.8人/日 (うち、0.8人が彩都あかね3)	5.6人/日 (うち、希望ヶ丘東が2.4人、 0.7人が泉原)
81：忍頂寺→彩都あかね→阪茨	15:05 15:59	19.3人/日	5.8人/日 (うち、2.2人が忍頂寺、 2.1人が泉原)	1.7人/日 (うち、1.3人が馬場、0.3人が免山)
81：希望東→上音羽→忍寺→彩あ→阪茨	16:21 17:33	18.7人/日	2.5人/日 (うち、0.8人が千提寺口、 0.5人が忍頂寺)	0.1人/日 (全てが彩都あかね3)

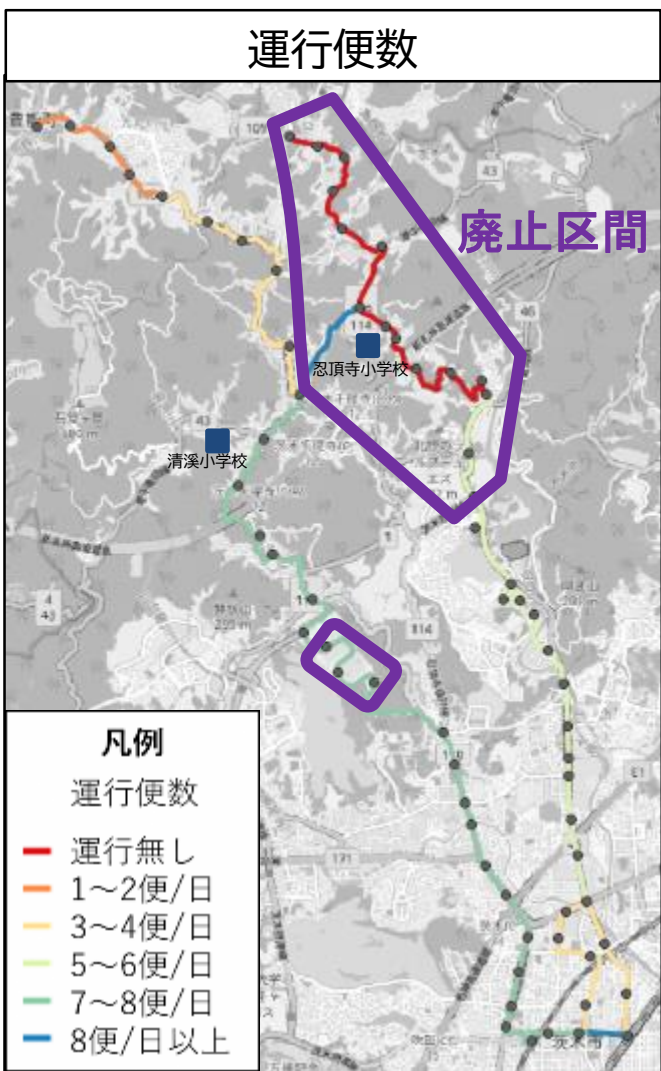
### 【3】公共交通の利用状況（忍頂寺車作線の便数と乗降実績・平日）

- ・便数と利用者数が比例しているとは言えない。
- ・山間部では比較的小学校近辺の停留所において乗降が多い。



### 【3】公共交通の利用状況（廃止路線バスの利用実績・休日）

- ・通学バスが運行していないため、運行が無い地域が生じている。
- ・忍頂寺での乗降が見られる。



# 【3】公共交通の利用状況（忍頂寺車作線：バス停別の平均乗降者数/平日）

上音羽 ③→ (うち、通学補助)	便数:乗4/降5 乗:1.0 降:0.6 便数:乗0/降1 乗:— 降:0.5)
---------------------	---

倶楽部前 (うち、通学補助)	便数:5 乗:1.7 降:0.3 便数:1 乗:0 降:0.2)
-------------------	-------------------------------------

上音羽口 (うち、通学補助)	便数:5 乗:0.1 降:0.1 便数:1 乗:0 降:0.0)
-------------------	-------------------------------------

泉原上 (うち、通学補助)	便数:5 乗:0.1 降:0.0 便数:1 乗:0 降:0)
------------------	-----------------------------------

千提寺口 (うち、通学補助)	便数:14 乗:2.9 降:3.6 便数:乗3/降2 乗:0.0 降:0)
-------------------	--

泉原 (うち、通学補助)	便数:8 乗:4.8 降:4.2 便数:1 乗:0 降:2.7)
-----------------	-------------------------------------

南条 (うち、通学補助)	便数:8 乗:1.2 降:0.3 便数:1 乗:0.0 降:0.0)
-----------------	---------------------------------------

免山 ①↑ (うち、通学補助)	便数:8 乗:1.9 降:1.5 便数:1 乗:0.6 降:0)
--------------------	-------------------------------------

庄の本 (うち、通学補助)	便数:8 乗:0.5 降:0.7 便数:1 乗:0 降:0)
------------------	-----------------------------------

馬場 ③↑ (うち、通学補助)	便数:8 乗:4.3 降:3.3 便数:1 乗:2.1 降:0)
--------------------	-------------------------------------

彩都あかね3 (うち、通学補助)	便数:乗8/降7 乗:0.9 降:1.0 便数:— 乗:— 降:—)
---------------------	---------------------------------------

彩都あかね2 (うち、通学補助)	便数:7 乗:0.3 降:1.0 便数:— 乗:— 降:—)
---------------------	-----------------------------------

彩都あかね1 (うち、通学補助)	便数:7 乗:0.1 降:0.3 便数:— 乗:— 降:—)
---------------------	-----------------------------------

彩都あかね口 (うち、通学補助)	便数:7 乗:0.0 降:0.0 便数:— 乗:— 降:—)
---------------------	-----------------------------------

銭原 (うち、通学補助)	便数:1 乗:0.1 降:0.1 便数:1 乗:0.1 降:0.1)
-----------------	---------------------------------------

銭原クラブ前 (うち、通学補助)	便数:2 乗:0.5 降:0.3 便数:2 乗:0.5 降:0.3)
---------------------	---------------------------------------

車川庄 ①↓ (うち、通学補助)	便数:2 乗:0.9 降:0.7 便数:2 乗:0.9 降:0.7)
---------------------	---------------------------------------

稲葉庄 (うち、通学補助)	便数:2 乗:0 降:0 便数:2 乗:0 降:0)
------------------	-------------------------------

長谷口 ③↓ (うち、通学補助)	便数:2 乗:2.6 降:2.0 便数:2 乗:2.6 降:2.0)
---------------------	---------------------------------------

下音羽 ②↓ (うち、通学補助)	便数:2 乗:1.7 降:1.4 便数:2 乗:1.7 降:1.4)
---------------------	---------------------------------------

忍頂寺 (うち、通学補助)	便数:11 乗:9.0 降:14.2 便数:4 乗:4.4 降:5.9)
------------------	---

忍頂寺小学校前 (うち、通学補助)	便数:4 乗:4.2 降:4.0 便数:4 乗:4.2 降:4.0)
----------------------	---------------------------------------

寿命院前 (うち、通学補助)	便数:4 乗:0.0 降:0 便数:4 乗:0.0 降:0)
-------------------	-----------------------------------

安元 ③↑ (うち、通学補助)	便数:4 乗:1.4 降:2.0 便数:4 乗:1.4 降:2.0)
--------------------	---------------------------------------

板谷 (うち、通学補助)	便数:4 乗:0.0 降:0 便数:4 乗:0.0 降:0)
-----------------	-----------------------------------

車作クラブ前 (うち、通学補助)	便数:4 乗:0 降:0 便数:4 乗:0 降:0)
---------------------	-------------------------------

車作 ③↑ (うち、通学補助)	便数:乗6/降7 乗:4.7 降:2.7 便数:4 乗:2.6 降:2.1)
--------------------	---

大岩口 (うち、通学補助)	便数:9 乗:0.0 降:0.0 便数:1 乗:0 降:0)
------------------	-----------------------------------

ダムパークいばきた前 (うち、通学補助)	便数:9 乗:0.5 降:0.8 便数:1 乗:0 降:0.0)
-------------------------	-------------------------------------

生保 ②↓ (うち、通学補助)	便数:9 乗:2.0 降:1.5 便数:1 乗:0 降:1.0)
--------------------	-------------------------------------

大門北 (うち、通学補助)	便数:9 乗:7.6 降:5.5 便数:1 乗:0 降:0.0)
------------------	-------------------------------------

大門南 (うち、通学補助)	便数:9 乗:0.4 降:0.1 便数:1 乗:0 降:0)
------------------	-----------------------------------

奥垣内 (うち、通学補助)	便数:9 乗:1.8 降:0.3 便数:1 乗:0 降:0.3)
------------------	-------------------------------------

桑原 (うち、通学補助)	便数:9 乗:2.3 降:2.3 便数:1 乗:0 降:1.0)
-----------------	-------------------------------------

凡例

バス停名	一日当たりの便数と乗車・降車の人数 (上記のうち、通学便の便数と乗車・降車の人数)
○	小学生(○名)が利用するバス停
■	小学校最寄りのバス停
□	廃止予定の停留所

# 【4】市の取組状況（茨木市総合交通戦略 令和7年3月改定）

## 基本方針3：社会変化に対応した持続可能な交通環境の構築

### テーマ⑧：地域との協働による新しい交通手段の導入

#### 将来目標

- ・公共交通空白地や交通不便地域等において、公共交通や福祉交通等により、高齢者等の移動や通学等に必要な持続的な移動手段が確保されています。
- ・地域との協働により「地域と一緒に守り・育てる」という考え方が利用者にも意識されています。
- ・新たな交通 ICT も適切に取り入れた形で、利用者数や利用者ニーズ等に応じた利便性の高い多様な公共交通が運行されています。
- ・公共交通により日常生活における移動や観光客の移動が確保されています。

### 施策14：地域が主体となった交通手段の導入

#### 14-1：自家用有償旅客運送事業等の導入検討

##### ■現状と課題

- ・山間部では高齢化の進展に伴い、将来的な移動手段の確保について不安を感じる人が増加しています。
- ・路線バスの特性を活かせない地域において、通常の路線バスの運行を維持することが困難であり、交通事業者や行政だけでなく地域住民等も一緒に、利用者数や利用者ニーズ等を踏まえた交通手段の検討が必要となります。

##### ■施策の取組

- ・NPO法人等が公共交通空白地等において、当該地域の住民や観光客その他の当該地域を来訪する者の運送を行う自家用有償旅客運送等の導入について検討を行います。

#### <実施スケジュール>

短期：山間部における自家用有償旅客運送等の導入検討

#### <実施主体>

茨木市、地域住民、NPO法人、交通事業者等

運行団体	NPO法人「気張るふるさと丹後町」
運行方法	路線を定めた運行
運行本数	2路線（各路線で曜日を変えて週3日）
予約の有無	利用日前日の17時までに予約
運行車両	トヨタハイエース（定員10名）1台
料金	100円または200円/回、小学生や障がい者及びその介護人又は付添人は半額
運行経費	運転委託料208万円/年、ランニングコスト59万円/年



資料：自家用有償運送のはじめかた（一般財団法人トヨタ・モビリティ基金、平成30年（2018年）7月）



図 将来の交通体系イメージ

図 自家用有償旅客運送の導入事例（京丹後市）

# 【4】市の取組状況（地域との交通検討）

## ■予約型あい乗りタクシー

「おとわ号」試験運行（主催：茨木市）

【概要】 **市が車両を貸切（無料乗車）**、  
**会員登録、事前予約制**、  
**地域で予約集約・配車依頼**

【目的】 **新たな移動手段の検証**  
 ・ **地域との役割分担、移動ニーズの確認**

【運行】 **地域との意見交換により運行内容を決定**

令和4年10月11日～11月29日  
 （毎週火・金曜日）

定時定路線の行き2便・帰り2便  
 （1日2往復）※予約に応じて運行

乗降場所：地域内に集会所等5箇所、  
 アル・プラザ茨木

【結果】 **日常的に複数名が利用**

➔ **乗合型交通が成立する可能性有。**  
**配車担当の負担が大きい。**

### 阪急バスお出かけツアー

#### ●公共交通を使う習慣のない人の体験会。

阪急バスに乗って  
 千里中央まで行って、  
 買い物を体験する  
 機会を提供。  
 ICカードの利用も体験。



取組経過	
2021年（令和3年）2月	上音羽地区での検討を開始
2021年（令和3年）6月	現地視察・勉強会等の取組を開始
2022年（令和4年）4月	「阪急バスお出かけツアー」及びアンケートを実施
2022年（令和4年）10月	予約型のあい乗りタクシー「おとわ号」の試験運行（10/11～11/29）
2022年（令和4年）12月	試験運行終了後アンケートを実施
2023年（令和5年）7月	上音羽地区も含めた山間部と試験運行結果の共有及び意見交換を開始

### おとわ号 の試験運行（予約型あい乗りタクシー）

#### 試験運行の概要

- 期間：2022年10月11日（火）～11月29日（火）
- 運行形態：会員登録・事前予約制、あい乗り（上音羽住民のみ）
- 車両：ジャンボ、セダン（小型）
- 運行ダイヤ：1日2往復（行き2便・帰り2便）
- 運行日：毎週 火・金曜日
- 運行区間：上音羽地区～アル・プラザ茨木
- 乗降場所：上音羽地区内に4カ所＋集会所
- ★ 登録会員募集、予約受付・配車予約、広報物の配布、運行当日の窓口等は、地区の担当係が対応。

#### 運行結果

- 予定した15日のうち、13日に運行。  
 （おとわ号は予約がなければ運行しない仕組み）
- 42名が会員登録。60・70代が中心。
- 延べ利用客数は51名。70代が6割。
- 登録会員（42名）のうち、1日でもご利用いただいた方（実利用者数）は17名。



#### 運行結果



● “お試し”で、初期にご利用いただいた方が多いなか、日常的に利用する方が7名。  
 （1～2週間に1日以上乗ってくださった方）



#### 運行結果

- 8割近くが、火曜日の利用。
- 8割近くが、第1便×第3便を利用。  
 （朝出かける便、お昼に帰る便）
- 1便あたりの乗車客数は、3.1人。  
 利用が安定（定着）した11月は、2.5人。



参考（日曜日の試験乗）  
 平日に利用できない方が体験できるよう、12月11日（日）に試験乗会を開催。3名のうち1名が初めての利用乗。

延べ利用客数（利用便）

行き9時～帰り12時	75%
行き9時～帰り14時	12%
行き11時～帰り12時	0%
行き11時～帰り14時	12%



## 1. 取組の背景

- 山間部は、市街地に比べ路線バスの運行本数が少ない。
- 自家用車の利用が多い。
- 高齢化率が高い。(40%以上)

↓

将来の移動に不安を抱えている。

- 公共交通事業者(路線バスやタクシー)は、全国的に運転士が不足。
- 運賃の抑制や経費削減の限界。
- コロナ禍により利用者が減少。

↓

苦しい経営状況に置かれている。

## 2. 取組目的

これからの山間部のおでかけについて、地域の皆さんと一緒に検討する。



## 3. これまでの取組

- 令和2年度から検討開始
- 上音羽地区において、予約型あい乗りタクシーの試験運行を実施(期間:令和4年10月11日~11月29日まで)



## 4. これから考えること

将来、既存路線バスの減便等により山間部の交通環境が変化した場合、これまでの取組の知見を活かした新たな移動手段の検討が必要と考えています。

市と公共交通事業者と地域住民の皆さんと実際に利用していただける移動手段を一緒に考える必要があると考えています。

### 理由①

地域の皆さんに利用してもらえない移動手段を、将来にわたって維持していくことが困難です。

### 理由②

地域の皆さんと一緒に考えることで、その地域に合う移動手段の検討ができます。

地域の主体的な取組を市がサポートします。  
これからの移動(おでかけ)手段を検討したい自治会は、交通政策課まで。

【問合せ先】 茨木市交通政策課  
電話:072-647-2916



## 【4】市の取組状況（地域との検討）

（令和8年3月末時点）

地区	検討開始時期・協議回数※	移動に関する困り事
上音羽	R3年（2021年）6月・8回	自家用車が利用できない方への対応（数名）
（山三地区）	R5年9～10月・15自治会	おとわ号の結果共有及び移動手段検討の声掛け
泉原	R5年（2023年）11月・4回	地域内からバス停までの移動（数名）
安元	R5年（2023年）12月・8回	自家用車が利用できない方への対応（数名）
千提寺	R6年（2024年）7月・1回	—
銭原	R7年（2025年）12月・3回	自家用車が利用できない方への対応（約10名）

※会議を開催した回数であり、地元役員や関係機関等との個別調整等は除く。

### 【路線バスに対する意見】

- ・利用者は少ないが、通勤や小学校への通学に利用している。
- ・これまでの減便や廃線により、生活する上で頼れなくなった。
- ・地域にバス停はあるが、路線バスを利用せず、自家用車を利用している。

### 【タクシーに対する意見】

- ・普段は自家用車を利用しているが、緊急時は頼りたい。確実に配車して欲しい。
- ・時々、タクシーを見かける。

## 【4】市の取組状況（地域との検討）

### ■安元相乗りタクシー実証実験 （主催：安元相乗りタクシーの会）

【概要】有償（利用人数で割勘）、  
会員登録、事前予約制、  
地域で予約集約・配車依頼

【目的】相乗りタクシーによる利便性向上検討  
実現性や効果の確認

【運行】移動に困っている方へのヒアリング結果  
を踏まえ、地域と運行内容を決定

令和7年11月1日～令和8年3月31日  
（毎週水・土曜日）

定時の行き1便・帰り1便（1日1往復）  
※予約に応じて運行

乗降場所：自治会集会所  
フレンドマート茨木サニータウン店

【結果】5ヵ月間で申込は2名のみ。  
（申込後、キャンセルされ運行実績無し。）

➡令和8年3月末で実験中止。  
運行内容に問題は無いが利用ニーズが少ない。

## 安元相乗りタクシーの 実証実験を行います！

「相乗り」は、タクシーをみんなで  
『賢く』利用できる方法です。



日常生活に必要な不可欠な移動手段の確保を目指して相乗りタクシーの試験運行を実施します。すでに移動手段に困っている方だけでなく、今後の移動手段が心配な方も、是非この機会にご利用下さい！

●期間：令和7年11月1日（土）～  
令和8年3月末まで（予定※）

※実証実験の期間は、検討状況や利用状況によって変更する可能性があります。

### ●運行内容

水曜日と土日に、山手台のフレンドマートと安元自治会集会所の間をタクシーで往復します。乗車人数でタクシー料金を【割り勘】して支払います。

### ●利用方法：裏面を参照下さい

【会員募集中】  
利用していただいた方のご意見  
をお聞きして、運行内容を改善し  
ていきます！



■主催  
安元相乗りタクシーの会  
（協力：安元自治会・茨木市交通政策課）

## 【4】市の取組状況（地域との検討）

### 【山間部の状況】

日常の移動は、自家用車が中心。自家用車が利用できない方は、家族・友人等の送迎や、路線バスで移動している。

今後、自身や家族等の高齢化に伴い、**自家用車が利用できなくなった時の不安**を感じている方が増えており、交通手段を検討したい。

### 【主な意見交換の内容（➡は市意見）】

- ①コミュニティバスや乗合型交通を山間部全体で導入して欲しい。  
➡利用ニーズに応じて、運行時刻・車両の大きさ・経路等が決まる。自治会単位で始めたい。
- ②地域住民が運転を担うことはできない。事故が生じた際、地域の間人間関係に影響する。  
➡住民が運転する方法も選択肢の1つであるが、バスやタクシーから検討したい。
- ③現時点で移動に困っている人は少ないため、数年後を想定して検討したい。  
➡困っている人への対応と合せて、将来についても考えていきたい。
- ④バス停までの移動が困難。  
➡交通手段の検討と合せて、乗降場所も検討が必要。路線バスと競合しないものを考えたい。
- ⑤ある程度の負担は仕方ないが、運賃が安くないと利用しない。  
➡交通サービスを検討した後、利用者の負担を検討したい。目安はバス以上タクシー未満。
- ⑥高齢者であり、運転できているが、数年後には何か移動手段があれば良い。  
➡運転できなくなった時の準備運動として、地域の検討に参加いただきたい。

## 【4】市の取組状況（タクシー事業者へのアンケート）

■茨木市北部（山間部）におけるタクシー配車実態調査（実施者：大阪タクシー協会）令和7年11月調査

アンケート結果	配車件数 (1カ月間)	山間部 配車課題	山間部 対応余地	支援策	自由意見
東京日本交通	不明	迎車距離が長く採算が合わない	ある（他地区の経験有）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎車補助</li> <li>・稼働能力をプールする必要有</li> </ul>	事業者に経済的な負担を求めるやり方では前進しない
国際興業大阪	1件未満	迎車距離が長く採算が合わない	迎車距離から難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎車補助</li> </ul>	迎車先までの運賃補填があれば対応可
阪急タクシー	1件未満	迎車距離が長く採算が合わない 利用頻度が少なく、運行効率が悪い	減車による車両不足のため難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎車補助</li> <li>・運賃助成</li> <li>・拠点送迎</li> <li>・ミニバス等でルート送迎</li> </ul>	タクシー配車については、左記のとおりであるが、利用が見込めるのであれば検討可
ひかり交通	40件以上	迎車中にキャンセルされることがある	保有台数から難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃助成</li> <li>・乗車券等の配布</li> </ul>	—
北摂交通	1～5件	利用頻度が少なく、運行効率が悪い 迎車中にキャンセルされることがある	車両数が少なく難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎車補助</li> <li>・運賃助成</li> </ul>	—

## 【5-1】短期の対応

### 【廃止路線・区間の利用状況】（P9～P13）

- ・平日の主な利用は、小学生が通学で利用されている。
- ・通学利用を除いた場合、バス車両ほどの輸送力は必要ない。

### 【地域ニーズ】（P15～P19）

#### （実験結果）

- ・上音羽での実証実験（タクシー車両による事前予約制の定時定路線、料金は無料）により、日常的に複数名の利用が有り、乗合型交通が成立する可能性を確認できた。
- ・安元での相乗りタクシーの実証実験（事前予約制のタクシー利用、料金は有償）により、5カ月間で2名から各1回の申込があったものの、相乗りが不成立となり、運行実績は無い。

#### （意見交換会）

- ・自家用車による移動が最も便利な状況。
- ・地域住民が路線バスの代替手段となる運転を担うこと（自家用有償旅客運送）は難しい。
- ・引き続き、丁寧なニーズ把握が必要。



### 【通学手段としての対応】

教育委員会と連携し、路線バスの代替交通を検討・確保する。

### 【生活手段としての対応】

通学目的を除いた路線バスの利用実績からタクシーによる代替交通を確保する。  
乗合交通の導入に向けた地域との検討を継続する。

※目的地や利用実態から直ちに統合させることは難しいため、個別に代替交通を考えるとところから着手



## 【5-2】中・長期の対応

### 【1】短期の対応

- ・ 継続した地域との交通検討
- ・ 通学手段の運行状況

### 【2】北部地域のまちづくり

- ・ 『ダムパークいばきた』の取組
- ・ 彩都事業や茨木箕面丘陵線の整備

### 【3】交通事業者の動向

- ・ 路線バス運転手の確保状況
- ・ タクシーの利用状況
- ・ 路線バスとの乗継拠点整備



### 【山間部の交通手段を導入】

- ・ 上記の1～3を踏まえた検討
- ・ 地域公共交通計画の策定と併せ、国庫補助金の活用も検討



図 将来の交通体系イメージ